

# 地 域 連 携 だ よ り

彦根市立病院  
〒522-8539 滋賀県彦根市八坂町1882番地  
TEL : 0749-22-6050(代)

問い合わせ先 彦根市立病院 地域医療連携室  
TEL : 0749-22-6053 FAX : 0749-22-6093

いつもありがとうございます



## 安全第一!!

### 新型コロナウイルスと 向き合う手術室

麻酔科主任部長  
高淵 聡史



日進月歩の手術医療を支えるべく、私たち麻酔科医も奮闘しています。低侵襲で高度な医療が増える一方で、ハイリスクな高齢患者さんも増えています。モットーは“安全第一”です。麻酔科医の仕事は、手術中は患者さんからお預かりした命が損なわれないように守り、術後のストレス状態も乗り越えられる形にしてお返しすることです。手術室での全身管理の延長線上に集中治療室や救急外来、検査や処置室での関りがあります。他科との風通しの良さが私たちに活動の場を与えてくれます。

麻酔学には理論もありますが、経験が物を言う部分も多く、生身の患者さんが相手なので予測通りにいかないこともあります。毎朝、麻酔科全員でカンファレンスを行い、当日と前日の全症例について情報を共有し、至らない部分を補い教訓を共有します。常勤医ならで

はの運用です。彦根市や病院幹部のご配慮で、患者の安全に不可欠な麻酔器やモニタリング設備は整っています。

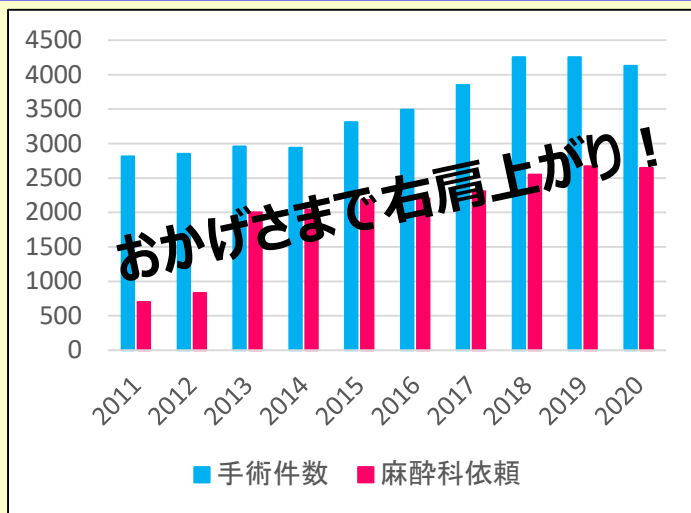
医師の偏在と少子高齢化が進む中、集約化と地域連携があつてこそ急性期医療は機能し、麻酔科医に常勤としての居場所が出来ます。より困難な症例には滋賀医大など高度医療機関が控えています。当院麻酔科が持続可能な存在でいられるよう、数年前より滋賀医大麻酔学講座がマネジメントしてくださっています。

コロナ禍ですが手術件数の目立った減少はありません。地域で必要とされる手術医療が滞ることのないよう、これからも安全第一をモットーに全力に関わってまいります。表舞台に出ることはありませんが、今後とも何卒よろしく願い申し上げます。

# 地域に必要とされる手術医療

2  
2022

## ◆手術件数と麻酔科依頼件数の実績



手術件数：4130件/年

### R2年度手術件数ランキング

|    |       |      |
|----|-------|------|
| 1位 | 整形外科  | 981件 |
| 2位 | 眼科    | 781件 |
| 3位 | 消化器外科 | 636件 |

麻酔科医介入件数：2674件/年

局所麻酔のみで手術が行われる症例以外は**全て麻酔科医**が手術中の患者さんの全身管理を行います



## ◆麻酔科医の役割

患者さんを手術という侵襲から守るため、鎮静剤・鎮痛剤・筋弛緩薬などを用いて全身管理します。また手術者のパフォーマンスを最大限に発揮できるようサポートしています

- ①循環管理：手術中、血圧や脈拍、尿量などの心臓や血液の流れを整えます
- ②呼吸管理：手術中に体の中に十分な酸素を送り込むための環境を整えます
- ③疼痛管理：手術中、手術後に体への最大の負担となる痛みを和らげます  
※痛み刺激は手術後の回復に影響を与えます

当院では非常勤医師を含む5人体制で安全に手術を行うことができるように術前～術後までサポートさせていただきます

## ◆手術前後のワクチン接種に関して

### 原則として、ワクチン接種を優先してください

ワクチンと手術の間隔を空ければ、ワクチンの副反応と、麻酔の副反応とを区別できる利点があります  
時期を選べるのであれば手術と重ならないように接種します

術前の接種：不活化ワクチン・トキソイド **2日間空ける**  
生ワクチン **2週間空ける**  
mRNA COVID-19 ワクチン **3日間空ける**

\* 公益社団法人日本麻酔科学会指針をもとに当院COVID-19対策推進本部で決定

術後の接種：状態が安定してから（主治医にご確認ください）

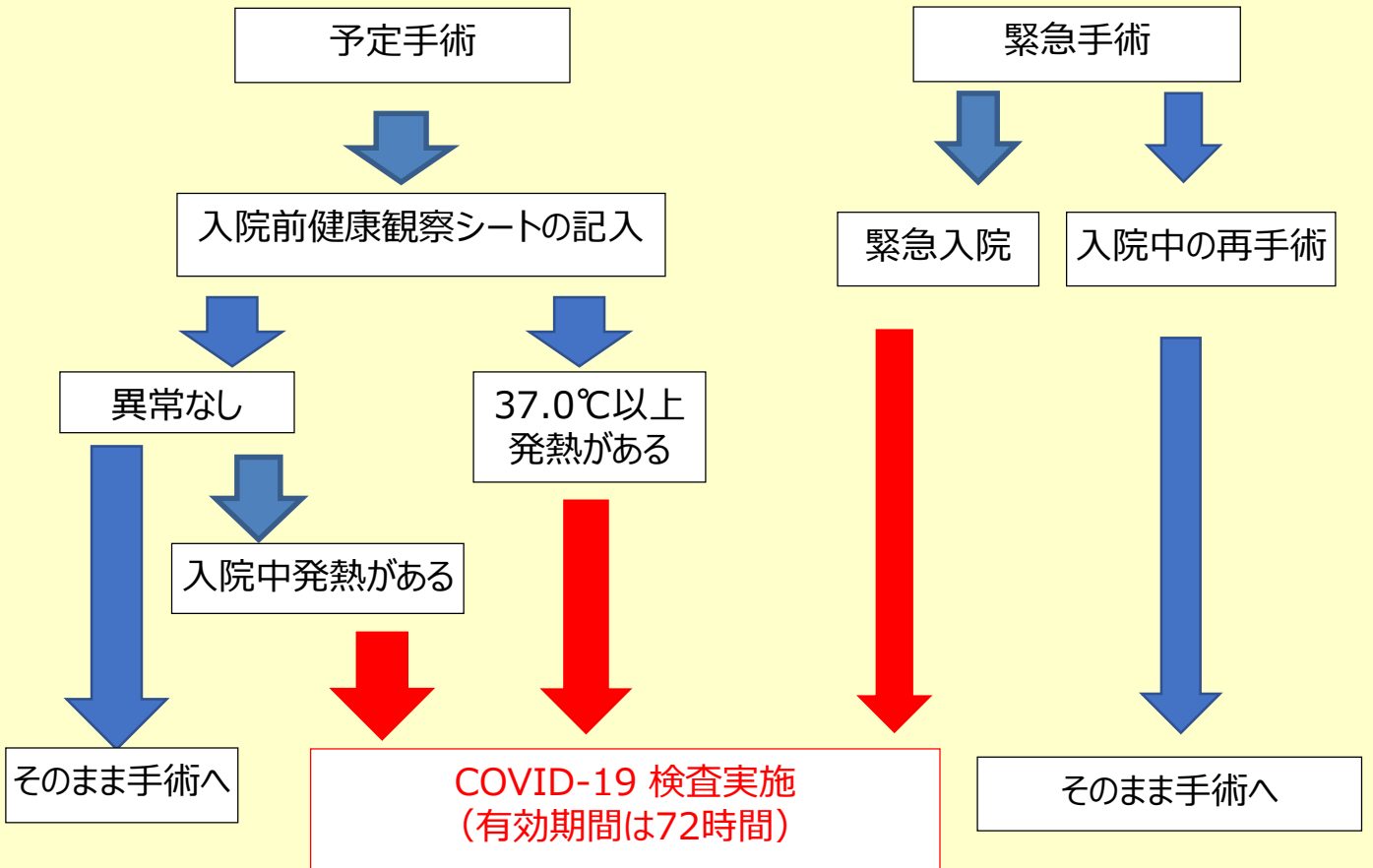
ワクチンを接種した場合は、入院時にその旨をお伝えください（ワクチンの種類、実施日）

◆COVID-19 禍での手術室の対応

手術室は陽圧換気という特殊な空調システムで、手術室内の空気を外へ押し出すという特徴があります。手術室内の空気中に新型コロナウイルスが存在すると、手術室全体に拡散してしまう恐れがあるのです。

**手術患者さんには手術までにCOVID-19 検査を実施します**

新型コロナウイルス感染に対する手術室への入室基準



\* 原則検査結果が出るまで手術室に入室しない。  
\* 検査結果が出るまで待てない症例は、結果が出るまで新型コロナウイルス感染陽性者と同様に対応（専用部屋を使用する）

**麻酔に不安がある方へ**

麻酔を受けていただく患者さんでわからないことや不安に思うことがあれば手術までにスタッフまでお気軽にお声かけください。安心して麻酔を受けていただけるように対応させていただきます。

急性期病院として地域の皆様に安心して手術を受けていただけるように、手術室の看護師は24時間の待機制をとり、全科の緊急手術に対応できる体制を整えています

## 中和抗体（ゼビュディ） 外来投与開始

## 中和抗体（ゼビュディ）療法とは

本剤は新型コロナウイルス感染症の症状が重くなることを防ぐための治療薬です。本剤に含まれる有効成分は『ソトロビマブ』という抗体※です。ソトロビマブは体内で新型コロナウイルスに結合してヒト細胞へのウイルス侵入を防ぎます。

## 中和抗体療法イメージ

ゼビュディ(ソトロビマブ)の作用機序



ゼビュディはSARS-CoV-2のスパイクタンパク質(RBD)のACE結合部位以外に結合することで、中和作用を示す。また、免疫細胞による抗体依存性細胞傷害(ADCC活性)も期待されている。

## オミクロン型に対する主な治療薬の有効性

|              |             |
|--------------|-------------|
| ロナプリーブ       | ほぼ効果なし      |
| <b>ゼビュディ</b> | <b>効果あり</b> |
| AZD7442      | 効果あり        |

## COVID-19 検査に関して

当院ではCOVID-19 鑑別のみ検査や、無料で行われているPCR検査の取り扱いはありません。

保健所の指示により、有熱症状のある患者さんに対して抗原検査を実施させていただいています。今後ともご理解とご協力を何卒よろしくお願いいたします。

## ゼビュディ投与対象患者

新型コロナウイルス感染患者  
※下記投与基準を満たす患者

## ゼビュディ投与基準

- ①発症後7日以内
- ②発熱等の有症状
- ③重症化リスクのある方

## ゼビュディ副作用

## アナフィラキシーショック

※めまい、ふらつき、発汗、顔面蒼白、手足の冷感、呼吸困難、全身のかゆみ、皮膚の赤み、嘔気、嘔吐など

## インフュージョンリアクション

※発熱、悪寒、嘔気、嘔吐、頭痛、不整脈、胸痛、胸部不快感、力の入りにくさ、筋痛、のどの痛みなど

## ゼビュディ投与後の対応

投与後1時間の健康観察後に医師の指示に従う